

プロ野球の成績と年俵の推移を適切に評価する

熊本県立宇土高等学校

要旨

年俵が上がる選手たちは、1つの要因で上がっているのではなく、毎年活躍する、すべての項目において高い水準で成績を残していることがわかった。

1. 目的

プロ野球各12球団の年俵の格差が大きく各球団の年俵の評価基準が違ふと思ひ、年俵の新たな評価基準を考え作ること。それをうい成績に見合つた年俵を出し年俵格差をなくすこと。

2. 方法

打者の打率3割、ホームラン25本、打点80打点、出塁率3割5分

先発投手の10勝、防御率2.50、奪三振150個

中継ぎ投手のHP30、S30、登板数50試合、防御率3.00を目安に成績をそれぞれを新たな評価基準とする。

新たな評価基準とプロの昨年の推定年俵を比べ新たな評価基準がどれだけ差があるのか出し、球団の年俵格差をなくす。

3. 結果

野手年俵増加順

2021年度

選手名	球団名	年俵	増加額	打率	試合数	安打	ホームラン数	打点
1 吉田 正尚	(オ)	4億	1.2億 増	0.339	110	138	21	72
2 村上 宗隆	(ヤ)	2.2億	1.2億 増	0.278	143	139	39	112
3 坂本 勇人	(巨)	6億	1億 増	0.271	117	115	19	46
4 岡本 和真	(巨)	3億	0.9億 増	0.265	143	138	39	113
5 中村 悠平	(ヤ)	1.7億	0.8億 増	0.279	123	105	2	36
6 近本 光司	(神)	1.5億	0.75億 増	0.313	140	178	10	50
7 近藤 健介	(日)	2.6億	0.6億 増	0.298	133	133	11	69
8 牧 秀悟	(デ)	0.7億	0.57億 増	0.314	137	153	22	71
9 桑原 将志	(デ)	1.1億	0.56億 増	0.31	135	161	14	43
10 杉本 裕太郎	(オ)	0.7億	0.56億 増	0.301	134	144	32	83
11 森 友哉	(西)	2.1億	0.5億 増	0.309	125	133	11	41
12 梅野 隆太郎	(神)	1.6億	0.5億 増	0.225	130	91	3	33
13 甲斐 拓也	(ソ)	2.1億	0.45億 増	0.227	143	92	12	44
14 源田 壮亮	(西)	1.9億	0.4億 増	0.272	119	126	2	29

投手年俵増加順

2021年度

選手名	球団名	年俵	増加額	防御率	登板数	勝利数	負け数	ホールド数	セーブ数
1 山本 由伸	(オ)	3.7億	2.2億 増	1.39	26	18	5	0	0
2 千賀 滉大	(ソ)	6億	2億 増	2.66	13	10	3	0	0
3 武田 翔太	(ソ)	1.5億	0.9億 増	2.68	12	4	5	0	0
4 青柳 晃洋	(神)	1.2億	0.7億 増	2.48	25	13	6	0	0
5 上沢 直之	(日)	1.5億	0.65億 増	2.81	24	12	6	0	0
6 秋山 拓巳	(神)	1.1億	0.59億 増	2.71	24	10	7	0	0
7 柳 裕也	(中)	1億	0.59億 増	2.2	26	11	6	0	0
8 平良 海馬	(西)	1億	0.58億 増	0.9	62	3	4	20	21
9 岩崎 優	(神)	1.5億	0.55億 増	2.65	62	3	4	1	41
10 九里 亜蓮	(広)	1.4億	0.53億 増	3.81	25	13	9	0	0
11 清水 昇	(ヤ)	0.88億	0.52億 増	2.39	72	3	6	1	50
12 平野 佳寿	(オ)	2億	0.5億 増	2.3	46	1	3	29	3
13 高橋 光成	(西)	1.1億	0.43億 増	3.78	27	11	9	0	0
14 宮城 大弥	(オ)	0.5億	0.413億 増	2.51	23	13	4	0	0
15 石川 歩	(口)	1.5億	0.4億 増	3.38	12	6	3	0	0
16 石川 柊太	(ソ)	1.2億	0.4億 増	3.4	28	6	9	0	0

年俵が上がる選手たちは、1つの要因で上がっているのではなく、毎年活躍する、すべての項目において高い水準で成績を残していることがわかった。

4. 考察

成績と年俵を見ていて、年俵が上がっている高い人は、同じ球団の人が多いことがわかった。年俵は、各球団の親会社によって出せる額が変わってくるのだと思う。そのため、基準を同じにしても出せる金額には、差があるのではないかと思った。しかし、評価基準を同じにすることでその差は縮まっていくのではないかと思う。

5. 今後の展望

今回は、成績と年俵を照らし合わせて評価基準となる項目を考えたが、今後はこれまでの評価基準から新たな評価基準を考え出して、各球団が同じ評価基準で年俵を出せるようにする。

6. 参考文献

<https://baseball.sports.smt.docomo.ne.jp/special/contract/ranking/down.html>

https://npb.jp/bis/2021/stats/bat_p.html